

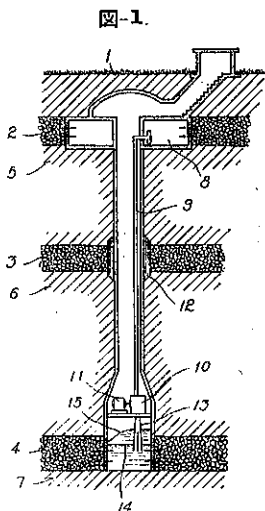
特許紹介

第 23 卷 第 9 號 昭和 12 年 9 月

地下透水性層に排水する水力発電装置

(特許第 120630 號
特許権者 (發明者) 久保 要)

此の發明は、地下水層 (2) の地下水を導管 (9) に依つて其の地下水層より低位にある透水性を有する地層 (4) に導き、導管 (9) の途中にタービン (10) を設け、タービンよりの排水を前記の透性地層に放出せしめて発電する装置であつて、地上に於て水の落差を得難き平地に於ても地下に落差を得て水力発電を行ひ得るやう考案したものである (図-1.)。



道路簡易舗装用凝固劑製造法

(特許第 120609 號
特許権者 (發明者) 可部次郎)

此の發明は道路を構成する粘土、赭土、土砂等を其の儘煉合凝固せしめて鋪装し、凝結速かにして堅固なる道路を容易に構築し得る凝固劑の製造法の考案に係る。即ち石灰煆成直後の熱石灰に珪酸白土又は珪藻土を混じて其の保有熱により珪藻土を煆成し、更に其の保熱混合物に石膏を混和し、之を微粉砕機にかけ、煆成混合、粉砕を行ふて製造するのである。

下水汚物の處理方法

(特許第 120668 號
特許権者 (發明者) ヲヨシ ヲホーヂ ヒーヴアン)

此の發明は、下水汚物の處理方法の改良であつて、特に下水汚物及類似廢液より腐敗性物質を除去するを企図したものである。即ち沈澱泥渣内の腐敗性物質を凝固せしめる三價金屬の可溶化合物と返還泥渣との存在のもとに下水汚物を氣曝する事と、泥渣を液体より分離しその分離泥渣を追加下水汚物の處理方法に返還する事とより成る懸浮腐敗性物質含有の下水處理方法である。

週期的に断続する直流を利用する

電氣的地質調査方法

(特許第 120722 號
特許権者 (發明者) コンラツト シュルン ベルゲル)

此の發明は、週期的に断続する直流を地中に送り掘鑿孔内に自然に發生せられる電位差が送給電流に基く電位差の測定に及ぼす影響を除去すると共に、此の自然發生電位差をも測定し、掘鑿孔内に於ける所要地層の位置厚さ及性質を簡單且つ確實に電氣的に測知するを目的として考案したもので、即ち地中に掘鑿孔を穿ち電源と電氣的に接続せられ地中に電流を送給すべき 2 個の給電々極と電位差を測定すべき他の 2 個の測定電極とを掘鑿孔内に垂下し、1 個の給電々極と 1 個の測定電極との何れか一方又は双方を地表上に接地する事に依り掘鑿孔内に存在する地層を電氣的に調査する際、給電々極を通じて週期的に断続する直流を地中に送り、遮断時間中兩測定電極に依り地中に自然に發生する電位差に相當する値を測定すると共に通電時間中通電々流に基く電位差と自然發生電位差との合成電位差に相當する値を測定しその合成電位差から自然發生電位差を除去する方法である。

セメント製造法

(特許第 120801 號
特許権者 (發明者) 磯山文司)

此の發明は、セメントダスト中の生石灰及水和に依つて生ずる遊離石灰と化合する性能を有する珪酸及礬土を含有する資料 (例へば石灰灰、頁岩灰、珪酸白土、珪藻土、火山灰、ジーストツフ、ベントナイト、抗火石、白色堅硬な石英粗面岩質凝灰岩、砂礫等の礦物類) 1 種又は數種をセメントダストに混和したものを、其の儘或は微粉砕加水等を施して化学的变化を行はしめた後若くは水溶成分を抽出した後、ポルトランドセメント塊等に混和して製造する方法である。

(附) 登録實用新案

兩開き跳上式可動橋先端接合装置

(第 238462 號
實用新案権者 公岩 12 年 號 1058 第)

(吉藤吉朗)